

令和3年4月1日

令和3年度開始にあたって

理事長 三浦 博幸

社会福祉法人愛恵協会の令和3年度職員体制は、192名でスタートします。愛恵協会は、地域社会が求める福祉分野で、主に生活困窮者・障がい者を対象に活動してきました。早いもので、来年度は法人設立70周年を迎えます。その機会に、新「愛恵協会中・長期事業計画」を公表して、将来展望の指針とします。その準備の年として、今まで以上に過去の振り返り、現状の活動の計画的実施を通して計画の作成をしていかなければなりません。今年一年の法人・各部門及び各事業所の運営方針・事業計画の理解を深め、その方向に沿った職員各位の創意工夫した能力発揮と、各事業所の成果に期待しています。

法人本部の事業計画について、少し触れます。

①組織体制の強化として、部門長が業務執行理事に相談しやすい関係づくり

②地域との繋がりは今までの山中小学校の児童見守りなどに加え、新型コロナウイルス対策を含む防災対策の拡大

③農福連携での繋がり強化

④地味ではありますが、地域福祉の潤滑油ともいえるショートステイ・ホームヘルプ事業におけるセルフ生活介護部門との関係強化

⑤組織力発揮の重要な要素である「報告・連絡・相談」を強化するための情報通信ツールの活用、及び制度の理解や援助技術の向上

課題は多くありますが、大切なのは利用者・職員が地域の中で生き生きと活動することです。その事が家族や地域社会に良い影響が与えられるとしたら、幸いです。愛恵協会の伝統である、

「民間活力の発揮」を活かして、今年目標に向かって、共に励みましょう。